

～自分が出来ることは何か、地域や環境のために～  
**加藤 建二さん（今治市）**

里山を良くする会 代表 （会員 4 名） 1974 年生まれ  
 今治地区林業研究グループ協議会 副会長



**【活動内容】**

放置竹林を中心とした竹林整備及び維持管理、竹を利用方法の研究開発。6 次産業化にも取り組む。

**【竹林整備を始めたきっかけ】**

**■自分たちの力で地域に役立つ喜びを知る**

数十年前、竹林は文字通り宝の山でした。季節の味として筍を味わい、物干し竿、箒・熊手だけではなく、竹とんぼや竹馬と言った子供の遊び道具まで生活の中には竹が溢れていました。ところが近年では安価な輸入品、代替品の急増で竹の利用は激減し、その結果として竹林が放置され、放置された竹林はその繁殖力で近隣の山や田畑に侵入し、環境問題にもなっていました。

そこで竹林を整備・維持管理することで里山の環境を保全し、新しい竹の利用方法を研究開発することで里山に活気を取り戻すことを目的として活動しています。

竹の生命力と繁殖力は資源としてとても有望です。今は堆肥や飼料添加材としての利用が中心ですが、燃料としての利用等も研究されています。竹の二酸化炭素吸収量を考えれば、利用すればするほど環境に役立つのではないのでしょうか。

そんな雄大な野望は出来なくても、自分に出来ることから始めて、地域にも環境にももちろん自分自身にも良い事が出来るのは嬉しいことです。

**【普段の生活について】**

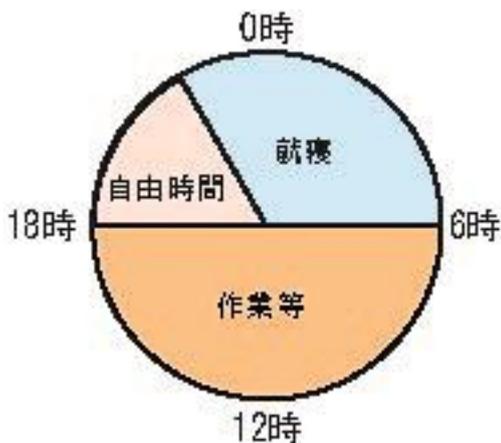
**■ボランティア**

基本的に天気に左右される作業なので晴れの日には竹林に入ることが多いですが、家庭菜園や堆肥作りもしています。雨の日には比較的のんびりしています。

その代わり、忙しいときは曜日関係なく晴れの日には竹林に通いつめることもあります。

自分の仕事で山主や周りの人から感謝の言葉をいただくとやはり嬉しいです。こう言う時に遣り甲斐を感じます。

また、勉強のため県外に出ることもしばしば。旅行している余裕が無いのが残念ですが、成果があれば大満足です。



**【一週間のライフスタイル（一例）】**

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	晴れの日にはずっと竹林に居ます。					
【普段】		作業等				(休み)



**【これからの夢や目指すもの】**

**■かつての姿を～邪魔者から資源へ～**

竹の繁殖力を考えると利用すればするほど環境のためになります。生命力溢れる竹は野菜や果物、米と言った農作物に対して相性が अच्छीで、美味しい農産物が出来ます。管理された竹林は癒し空間にも早変わり。これからも竹の復権を目指し身近なところから一歩ずつ頑張っていきます。

**【ひとことメッセージ】**

**■美味しい野菜を自分で作ってみませんか！**

やっぱり、自分で作るのは楽しいものです。それが美味しいのなら尚更です。竹の堆肥を使って美味しい野菜の家庭菜園はいかがですか？また竹粉コンポストで野菜くずを堆肥にすれば、ごみの減量にもなります。